

地域おこし協力隊 活動記 Vol.35



相馬地区地域おこし協力隊のあかりです。
ぼかぼかと暖かくなり、りんごの木々もピンク色になってきましたね！

今回は3月10日に中央公民館相馬館で開催された「そうま未来会議」の様子をご報告します。

これは、相馬地区に地域おこし協力隊が着任して今年で3年が経過したことからこれまでの活動を振り返ると同時に、地区住民を交えて地域の課題や未来について語り合うことを目的に、初めて開催されたイベントです。当日は、地区内外から約50名の方にご参加いただきました。

第1部では、協力隊と地元代表者の活動報告に加え、「頑張る相馬人トークセッション」が行われました。20年後も相馬が明るくあり続けるために必要なポイントとして、今あるものを次世代に繋げたいという「想い」や「チャレンジ精神」、また相馬で育つ子供たちに「地元愛」や「地域に関わる機会」を増やしてあげることが大事だという意見が出され、会場の皆さんも傾きながら耳を傾けていました。

第2部では、「20年後の明るい未来を考えよう」をテーマにワークショップが行われ、「若者が帰って来なくなる相馬」「日本一から世界一へ！りんごで高収入」「伝統ある祭りやイベントでカップル成立」などユニークなアイデアが発表されました。

今回のような住民参加型のワークショップは初めての試みだったのでドキドキでしたが、みなさん快く受け入れてくれたことをとても嬉しく思います。

今回出させていただいた意見を軸に、住民・協力隊・行政が一丸となって相馬をさらに住みよい地域にしていきたいと思います！